

平成 29 年度

公益財団法人いわき市教育文化事業団予算書
(抜粋)

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

公益財団法人いわき市教育文化事業団

目 次

	ページ
・ 事 業 計 画 書 -----	1
・ 収 支 予 算 書 -----	9

事業計画書

平成 29 年 度 事 業 計 画

平成29年度は、当財団が公益財団法人として4年目を迎え、これまで以上に公平・公正に市民の利益向上に努め、教育文化の振興に寄与することを目的に健全な事業運営に取り組んでまいります。

埋蔵文化財の発掘調査事業は、市内の遺跡発掘調査をはじめ、東日本大震災被災市町村の発掘調査を受託し、市内・外の復興を加速させるとともに、文化財の保護及び啓発・広報事業を積極的に推進してまいります。

教育文化及び生涯学習施設の管理運営事業においては、福島県から受託の1施設、いわき市から受託の7施設の計8施設の指定管理者として、利用者のニーズを捉え、常設展及び企画展の開催、講座・講演会や体験学習会など、市・県民の付託に応じてまいります。

1 文化財部門(公1 埋蔵文化財の発掘調査事業)

(1) 事業計画

当該年度の事業は、試掘・確認調査では、市内の開発行為に伴う事前調査1件、史跡指定に向けた確認調査1件、発掘調査では泉第三土地区画整理事業、公園整備事業、矢祭町基幹農道整備事業の3件、また、発掘調査終了後に行われる資料整理・報告書作成・刊行では、双葉郡内の檜葉町・大熊町・浪江町及び矢祭町の7件を含む11件を予定しております。

これらの事業を実施するに当たっては、発掘調査における安全な作業環境の確保と事故防止、事業の円滑化に努めるとともに、調査遺跡や出土資料の公開・展示などの活用を図ってまいります。

No.	事業名	委託者	遺跡名	事業内容
1	市内遺跡発掘調査	いわき市 (文化振興課)	市内一円	試掘・確認調査、整理、報告書作成
2	市内遺跡発掘調査 (範囲確認調査)	いわき市 (文化振興課)	梅ノ作瓦窯跡	確認調査
3	平城跡整備事業	いわき市 (公園緑地課)	平城跡	発掘調査
4	泉第三土地区画整理事業	いわき市 (小名浜区画整理事務所)	泉町A遺跡	発掘調査
5	基幹農道整備事業	矢祭町 (矢祭町教育委員会)	割目遺跡	発掘調査
6	埋蔵文化財発掘出土品等整理	いわき市 (文化振興課)	館山横穴群 久保ノ作古墳群	報告書作成・刊行

No.	事業名	委託者	遺跡名	事業内容
7	市内遺跡発掘調査 (報告書作成)	いわき市 (文化振興課)	酒井酒井原遺跡 北境遺跡 泉城跡下町遺跡	報告書作成・ 刊行
8	餓鬼堂地区埋蔵文化財 発掘調査事業	いわき市 (市林務課)	餓鬼堂横穴群	報告書作成
9	泉第三土地区画整理事業	いわき市 (小名浜区画整理事務所)	泉町A遺跡 御前田A遺跡 御前田B遺跡	整理、報告書 作成
10	基幹農道整備事業	矢祭町 (矢祭町教育委員会)	我満平遺跡	整理
11	竜田駅東側開発事業用 地本発掘調査(その1)	檜葉町 (檜葉町教育委員会)	高橋遺跡	整理、報告書 作成
12	竜田駅東側開発事業用 地本発掘調査(その2)	檜葉町 (檜葉町教育委員会)	高橋遺跡	整理、報告書 作成・刊行
13	町内遺跡試掘調査資料 整理	大熊町 (大熊町教育委員会)	町内一円	整理
14	西平遺跡整理	大熊町 (大熊町教育委員会)	西平遺跡	整理
15	南平G遺跡整理	大熊町 (大熊町教育委員会)	南平G遺跡	整理
16	防災集団移転事業埋蔵 文化財発掘調査整理・ 報告書作成業務	浪江町 (浪江町教育委員会)	大平山城跡・寺 院跡、大平山A 横穴墓	報告書作成・ 刊行

2 施設部門(公2 教育文化施設の管理運営事業)

(1) 事業計画

ア いわき市アンモナイトセンター

当施設の主たる事業である体験発掘は、個人や家族を対象とした一般体験発掘として毎週土・日曜日、並びに5月をはじめとする連休・一部祝日及び8月のお盆休みにおいても実施します。また、学校等の団体を対象としたカリキュラムとしての特別体験発掘は、原則として一般体験発掘非実施の開館日において実施します。

企画展事業については、小・中学校の夏休み期間における「アンモナイト研究所～200年解かれぬ謎と明かされた姿」、及び冬休み期間における「大イノセラムス博～実はスゴイ、偉大な二枚貝」を開催し、当館周辺より産出する化石の魅力を発信する展示・体験を実施します。

親子自然探訪教室事業は、祝日を中心として年6回を実施します。親子を対象と

し、地学に限らず広く自然科学分野のテーマに基づいた野外での体験学習カリキュラムを提供することで、当該分野（理科）への興味と知識を育みます。

公開シンポジウム（化石講演会）は、例年と同様に久之浜中学校を会場として9月に実施します。古生物分野の専門講師を招聘し、いわき地域の化石等についてご講演をいただくことで地元の小・中学生や一般市民に地元地史の魅力を伝えます。

その他、要請に応じて学校や各種イベントに出張し、講演やミニ体験発掘などの学習プログラムを提供する出前講座を実施します。また、地域の活動・イベントや他館との連携、収蔵標本の登録・研究についても積極的に推進します。

イ いわき市考古資料館

企画展は、4～8月に第1回企画展近世いわきの藩展Ⅳ「泉藩・窪田藩」、9～11月に第2回企画展「平成28年度発掘速報展」、1～3月に第3回企画展道具の歴史Ⅳ「遺跡から出土した金属の道具」、このほか、9月に特別展「鹿島金光寺収蔵宝篋印塔」、1月にミニ企画展「干支ーいぬー」を開催します。理解を深めていただくため、展示解説会、遺跡報告会、講演会、探訪会等の事業をあわせて開催します。

講座は、成人を対象とした「いわきの考古学講座」を全6回、夏休みの親子を対象とした「自由研究に挑戦しよう!!」、質の高いボランティアを養成する「ボランティア養成講座」を開催します。

体験学習会は、「ゴールデンウィーク体験学習会」・「夏休み体験学習会」・「古代まつり」のほか、夏・冬休み、ゴールデンウィークの土・日曜日には「勾玉づくり体験会」など合わせて23回開催します。夏休み最後の土曜日には滋賀県の芸術文化団体の支援を受け、開館20周年記念事業「いわきキッズミュージアム」を開催します。

歴史に関する問合せや資料の貸出及び団体への解説や体験指導、また、要請により出向いて実施する出前講座等についても積極的に対応し、館利用の様々な要望に応え、市民の満足度を高めてまいります。

ウ いわき市立草野心平記念文学館及びいわき市草野心平生家

文学館では、春、夏、秋、冬の計4回の企画展を開催します。

春の企画展「草野心平の詩 料理編」では、詩人・草野心平（1903～1988）が扱った多彩な題材の一つである料理をとりあげ、屋台の焼鳥屋「いわき」や居酒屋「火の車」等での味へのこだわりや独特なお品書きのほか、食材、調理法、食味等に創意を得て随筆等に綴り、「元来が。／愛による。／発明。」と記した詩人の料理の魅力、資料と食の両面から紹介します。

夏の企画展「いわむらかずお絵本原画展」では、世界中の子どもたちに親しまれている絵本「14ひきのシリーズ」「かんがえるカエルくん」他の絵本原画を紹介し、いわむらかずお（1939～）が描く「命への温かな想いと自然との共生」を感じていただき、子どもたちが夢を生み出す場を提供します。

秋の企画展「没後40年記念 吉野せい展」では、『洩をたらしした神』で大宅壮一ノンフィクション賞と田村俊子賞を受賞した吉野せい（1899～1977）の晩年の8年

間の創作活動を中心に、現在も読み継がれる作品の背景と魅力を紹介します。

冬の企画展「新収蔵品展」では、平成23年度の「新収蔵品展2011」開催後に収蔵した資料を中心に、文学館が所蔵する5万点余の資料から、新たな視点、主題で構成し、文学の魅力を紹介します。

生家では、「心平誕生日の市民朗読会」、没後30回忌「心平忌」・第24回「心平を語る会」、「草野天平の集い」などを開催します。

エ いわき市暮らしの伝承郷

企画展は、7～9月に「高橋孝太郎絵画展」、12～1月に「久之浜張子の世界」、2～3月に「伝承郷収蔵品展」の3回開催し、特別展は、6～7月に福島県立博物館との共催による「福島県立博物館移動展 東北の仕事着コレクション」を行います。

講座は、市民のニーズに応えたテーマで民俗学関連講座を3回開催します。

体験事業は、さまざまな行事の伝承や竹細工など伝統の技に親しみ習うための体験学習や演奏会を、四季折々の特色や年中行事の要素なども織り交ぜながら34回開催します。

そのほか、近年見られなくなった「盆棚飾り」「餅花」などの年中行事も園内に再現し、「蚊帳吊り」や「お月見どろぼう」などを取り入れ22回実施して内容の充実を図ります。

本館の主要展示である園内展示については、引き続き古民家を中心とした景観や昔の暮らしそのものを復元することにより、生活文化の保存・伝承を図ります。干し柿・梅干しなど保存食の実物展示や、菜の花・朝顔・十六ささげなど昔ながらの花木・野菜を育成して来園者に親しみの持てる空間の提供を図り、市民の憩いの場になるよう努めます。

なお、従来からの利用者層を維持するだけでなく、ホームページにて伝承郷の利用画像や企画展の紹介画像をアップするなど、新たな利用者層の開拓にも努めます。

オ いわき市生涯学習プラザ

平成29年度は、指定管理受託期間5カ年の3年目にあたります。また、第5期生涯学習推進計画が最終年を迎えることから、推進計画の達成に努めるとともに、生涯学習の拠点施設としての役割を踏まえた事業を推進し、多様な市民ニーズに応えられるよう努めてまいります。

プラザが企画し運営する25の主催講座に加えて、サークルやITリーダーが自主的に企画・運営する「サークル企画講座」、ITボランティアや子育て支援ボランティアが運営する「ボランティア活用事業」は参加者・利用者から高い評価を得ており、今後も継続して実施いたします。市民ニーズが高く応募者が多い「パソコン実用講座」は、引き続き内容の充実を図り開催してまいります。平成27年度から（一社）日本気象予報士会の協力で実施してきた「気象予報士のお天気教室」についても継続して開催し、親子で参加できる講座の充実を図ります。

他団体との共催事業としては、（一社）茶道裏千家淡交会いわき支部との「お茶会」、いわき華道連合会との「生け花展」などを開催いたします。

平成28年度いわき市市制施行50周年記念事業として実施した、特別展「写真でたどる本町通り」が非常に好評であったことから、市民ニーズを踏まえた関連分野の情報提供を続けてまいります。さらに29年度はいわきヒューマンカレッジ（市民大学）20周年にあたることから、特別事業を含めた内容の充実を図り、支援ボランティアと連携した効率的な市民大学運営を実施してまいります。

カ 福島県いわき海浜自然の家

恵まれた自然環境の中でのさまざまな活動を通して、青少年の心身の健全な育成を図るとともに、県民に多用な体験活動の場の提供に努めてまいります。利用者の安全を最優先とし、事故の絶無を期した安全衛生の管理と施設環境づくりを徹底しておこないます。

学校教育団体の利用希望の多い繁忙期に限定して休所日の臨時開所を継続してまいります。幼児から高齢者まで幅広い年齢層が楽しめる、また、利用者に感動体験を提供できる季節感を生かした魅力的なプログラムを新たに開発し、利用者の多用なニーズに応じた企画事業を展開してまいります。さらに、「わくわく未来キッズ生き生き事業」を受託し、親子を対象として子ども達の体力回復と健康意識の啓発を目指します。

県民に本所の活動への理解を一層深めるため、地元への回覧板をはじめ、チラシ・ポスターの配布のほかラジオ・テレビ・新聞や県の30秒スポット広報等様々な媒体を多用するとともに、ホームページに事業案内およびその実績報告等を随時掲載してまいります。自然の家の魅力を県民に広く伝え、利用者層の拡大を図るため、県内全域を対象とした広報活動を年間通じて取り組んでまいります。

施設内外の環境整備および各種事業の支援ボランティアの高齢化に伴う若手ボランティアを育成強化し、活動のさらなる充実を目指してまいります。

所員全体が常に情報を共有し、スピード感をもって課題の解決にあたり、県民に親しまれる施設づくりに努めてまいります。

キ いわき市勿来勤労青少年ホーム

平成29年度は、指定管理期間3カ年の最終年度にあたります。

運営に当たっては、条例・規則をはじめ関係法令を遵守し、市民が平等に安心して利用できるように、公平な運営に努めます。また、円滑な管理運営を行うため、地域との協調・連携を図ります。

施設の維持管理、設備の保全等に努め、利用者のニーズを把握し、勤労青少年の意向を反映した内容の講座を開設します。

教養講座は、年間講座として14講座、短期講座として2講座を継続するとともに、新たな短期講座の増設や人気のあるフィットネス等の充実・強化を図ります。

また、生活、職業等に関する相談及び指導のほか、各種レクリエーション活動や、県内5施設が中心となって運営する福島県勤労青少年ホーム連絡協議会と連携し、情報共有を図りながら交流の輪を拡大するなど、勤労青少年の健全育成に努めます。

3 管理部門(法人会計)

(1) 業務執行体制等

公益財団法人へ移行して4年目となり、引き続き関係法令及び諸規程を遵守し、円滑な管理運営事務の遂行と、各所属の事業運営に見合った組織づくり・事業管理に努めてまいります。また、公益法人の財務会計については、収支相償に留意し適切に処理してまいります。

(2) アクションプラン(行動計画)の作成

平成27年度より新たに作成開始し、各所属の目標達成に向けた具体的なプランを掲げることで、さまざまな事業を展開していく動機付けとなっております。今年度も、作成・行動・評価を行い、よりよい事業を実現してまいります(別冊「平成29年度アクションプラン」参照)。

(3) 情報開示

当財団の事業計画や事業報告、財務諸表の公開はもとより、管理運営をおこなう施設の事業の内容等についても、ホームページを通じて迅速な情報提供・発信に努めます。また、財団の事業内容を知っていただくため、年報を刊行いたします。また、法人運営全般について、公正・公平性や透明性の確保に努めてまいります。

(4) 研修、啓発・広報等

職員のスキルアップのための研修の実施、自主研修制度(図書購入補助を含む)の活用促進、関係資格の取得や研修への積極的な参加等により、職員教育に努めてまいります。また、職員の資質向上と研究成果を市民に知っていただくため、研究紀要を刊行いたします。

公民館講座や地域に出向いての出前講座は、平成28年度も大変好評であり、引き続き積極的に行ってまいります。「いわきのたからものずかん」シリーズの刊行も行います。

市制50周年記念事業の一つとして、いわき市教育委員会から委託を受けて作成した改訂増補版「みんなで学ぼういわきの歴史」(小学6年生の社会の副読本)の増刷を行い、普及活用事業や各施設で開催する講座などのテキストとして活用してまいります。

こうした事業活動を積極的に行うことで、いわき市の歴史、文化の価値を幅広い年代の市民に発信し、当財団の公益法人としての価値をさらに高めてまいります。

4 職員に関する事項

平成29年1月1日現在

(1) 事務局

括弧内数字：兼務職員数 単位：名

区分	事務局長 同相当職	次長 同相当職	係長 同相当職	主任職	係員	嘱託 職員	日々雇用 職員	計
事務局	2	2	—	—	—	—	—	4
企画管理係	—	1	—	—	2	—	1	4
調査第一係	—	1	—	—	3	—	—	4
調査第二係	—	—	2	—	1	—	13	16
計	2	4	2	0	6	0	14	28

(2) 施設

区分	館長 副館長	次長 同相当職	係長 同相当職	主任職	係員	嘱託 職員	日々雇用 職員	計
アンモナイト センター	1	—	—	—	1	1	1	4
考古資料館	(1)	(1)	—	—	(2)	—	2	2 (4)
文学館	2	1	2	—	—	—	4	9
伝承郷	1	—	—	—	2	—	4	7
生涯学習 プラザ	1	1	1	1	1	—	6	11
いわき海浜 自然の家	1	1	1	2	2	3	7	17
勿来勤労 青少年ホーム	1	—	—	—	—	—	2	3
計	7 (1)	3 (1)	4	3	6 (2)	4	26	53 (4)

合計	9 (1)	7 (1)	6	3	12 (2)	4	40	81 (4)
----	----------	----------	---	---	-----------	---	----	-----------

収 支 予 算 書

収 支 予 算 書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位千円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益 (A)	1	32	△31	
基本財産受取利息	1	32	△31	
事業収益 (B)	584,975	592,684	△7,709	
文化財調査受託料	188,141	199,861	△11,720	16件の事業受託 8つの施設
施設指定管理料	384,021	380,629	3,392	
いわき市アンモナイトセンター	17,073	16,895	178	
いわき市考古資料館	13,264	13,001	263	
いわき市立草野心平記念文学館	68,483	67,879	604	
いわき市草野心平生家	3,151	3,151	0	
いわき市暮らしの伝承郷	40,842	40,450	392	
いわき市生涯学習プラザ	86,027	85,432	595	
福島県いわき海浜自然の家	142,258	141,038	1,220	
いわき市勿来勤労青少年ホーム	12,923	12,783	140	
施設事業受託料	7,444	7,196	248	2件の事業受託
いわきヒューマンカレッジ	3,633	3,633	0	
わくわく未来キッズ生き生き事業	3,811	0	3,811	
ふくしまっ子自然体験活動応援	0	1,582	△1,582	
みんなで学ぼういわきの歴史	0	1,981	△1,981	
施設利用料	5,089	4,758	331	1つの施設
出版物頒布料	280	240	40	
受取負担金 (C)	0	0	0	
講師派遣料	0	0	0	
受取寄附金 (D)	0	0	0	
寄附金	0	0	0	
雑収益 (E)	343	345	△2	
受取利息	12	23	△11	
雑収益	331	322	9	
経常収益計 (F)	585,319	593,061	△7,742	(A~E)
(2) 経常費用				
事業費 (G)	563,089	570,933	△7,844	
給料手当	125,103	134,972	△9,869	
賃金	138,114	141,304	△3,190	
共済費	43,714	43,568	146	
報償費	7,150	6,532	618	
旅費	8,469	5,988	2,481	
消耗品費	10,730	11,661	△931	
被服費	638	681	△43	
燃料費	9,418	9,208	210	
食糧費	413	425	△12	
印刷製本費	15,963	18,654	△2,691	
光熱水費	33,624	32,990	634	

収 支 予 算 書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位千円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
修繕費	7,455	6,150	1,305	
医薬材料費	139	105	34	
通信運搬費	6,794	6,381	413	
広告料	308	319	△11	
手数料	1,436	1,615	△179	
保険料	1,329	1,271	58	
委託料	76,910	69,104	7,806	
使用料及び賃借料	45,402	50,513	△5,111	
工事請負費	1,318	1,318	0	
原材料費	1,488	705	783	
負担金	394	382	12	
公租公課	26,126	26,364	△238	
消耗什器備品費	578	394	184	
減価償却費	76	329	△253	
管理費 (H)	33,587	35,008	△1,421	
報酬	399	399	0	
給料手当	14,553	14,223	330	
賃金	3,516	5,261	△1,745	
共済費	4,463	4,073	390	
報償費	258	354	△96	
旅費	682	682	0	
交際費	80	175	△95	
消耗品費	746	746	0	
被服費	30	30	0	
燃料費	72	72	0	
食糧費	107	107	0	
印刷製本費	2,130	2,012	118	
光熱水費	150	150	0	
修繕費	200	200	0	
通信運搬費	336	516	△180	
広告料	50	50	0	
手数料	496	496	0	
保険料	57	57	0	
委託料	458	518	△60	
使用料及び賃借料	2,122	2,027	95	
負担金	622	732	△110	
補償費	38	38	0	
公租公課	1,446	1,410	36	
消耗什器備品費	500	500	0	
減価償却費	76	180	△104	
経常費用計 (I)	596,676	605,941	△9,265	(G+H)
当期経常増減額 (J)	△11,357	△12,880	1,523	(F-I)

収 支 予 算 書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位千円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計 (K)	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計 (L)	0	0	0	
当期経常外増減額 (M)	0	0	0	(K-L)
当期一般正味財産増減額 (N)	△11,357	△12,880	1,523	(J+M)
一般正味財産期首残高 (O)	90,250	103,130	△12,880	
一般正味財産期末残高 (P)	78,893	90,250	△11,357	(N+O)
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額 (Q)	0	0	0	
指定正味財産期首残高 (R)	10,000	10,000	0	
指定正味財産期末残高 (S)	10,000	10,000	0	(Q+R)
III 正味財産期末残高	88,893	100,250	△11,357	(P+S)

資金調達及び設備投資の見込について

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

1 資金調達の見込について

借入の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業番号	借入先	金額		使途	

2 設備投資の見込について

設備投資の予定		<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/>	なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額		資金調達方法 又は取得資金の使途	